



おもちつき みんなでペッタンコ

海部西保育所



海陽町議会だより

12月定例会

発行 徳島県海陽町議会 TEL (0884) 73-4164
編集 広報編集特別委員会 E-mail gikai@kaiyo-town.jp



Vol. **51** (2019.2)

おもな内容

一般質問 8P
行政報告 13P

海陽町議会では、総務産業建設・文教厚生
2常任委員会を設置しています。
所管の議案について12月10日、11日に開催さ
れた各常任委員会で慎重に調査をしました。

総務産業建設常任委員会

水道会計の統合に向けて

委員長 小山 慎

12月10日開会。

宍喰地区防災公園建設
予定地を巡視し、進入路
の位置などの説明を受け
た。その後、定例会提出
議案の所管の部分につい
て説明を受けた。

専決処分承認を求め
ることについては、林道
における自動車事故につ
いて相手方と和解し、損
害賠償の額が決定したの
で専決処分を行うもの。
課設置条例の一部を改
正する条例は、様々な行
政課題への対応及び業務
の効率化を図るために、
行政組織の改編を行うも

との問いに、第3セク
ターに関する部門を担当
し、加えて、ふるさと納
税の収入対策に対応して
行くのが設置目的であ
る。今後、4月1日まで
に編成していくとのこと。

附属機関設置条例の一
部を改正する条例は、海
陽町水道料金等検討委員
会を附属機関設置条例に
加えるもの。水道事業の
円滑かつ健全な運営を図
るため、適正な水道料金
のあり方について、必要

な事項の調査及び審議に
関する事務を行う。委員
数は、8人以内で組織す
ることのこと。

職員の給与に関する条
例の一部を改正する条例
は、人事院勧告に基づき、
海陽町職員の給与を改正
するもの。

町営バス運行事業に関
する条例の一部を改正す
る条例は、利便性を図る
ため、浅川巡回線及び海
部線の路線延長に伴う改
正。

平成30年度町道海南柿
谷線神野橋橋梁用部品製

作工事変更請負契約につ
いては、資材確保が困難
で、不測の時間を要した
ため。

一般会計補正予算の総
務費の主なものは、とく
しま無料Wi-Fi整備
負担金60万円。フルマラ
ソン大会運営費はゲスト
謝礼等の追加で255万
円。県知事及び県議会議
員一般選挙で人件費を含
め660万円。

農林水産費の主なも
のは、農業体質強化基盤
整備促進事業で、日比
原・馳馬地区の排水機場
機能保全計画策定業務
1600万円。農道に架

かる橋梁点検及び個別施
設計画策定業務300万
円。県単土地改良事業海
部櫛川・高園地区農道舗
装工事450万円。県単

林道事業で、橋梁点検委
託業務47橋分1600万
円。同じく、トンネル
点検委託業務2カ所分
450万円。林道笹無池ヶ
谷線舗装事業430万

円。森林整備地域活動支
援で森林の境界明確化等

1300万円。

商工費の主なものは、
台風被害の轟の滝遊歩道
修繕工事60万円。

土木費の主なものは、
ブロック塀等撤去事業補
助金の追加分50万円。県
営砂防工事負担金のう
ち、急傾斜地対策事業に
ついては浅川・鞆浦・久
保の各地区、砂防事業は
鞆浦地区で計438万
円。宍喰地区防災公園整

備事業は、洪水調整池
工事及び用地購入費等
5100万円。
災害復旧費の主なもの
は、林道施設災

害復旧事業で、
林道美濃ヶ谷線
法面保護工事
700万円。

公債費は、平
成20年度に借
り入れをした
臨時財政対策
債の繰上償還
金によるもので
6725万円。

特別会計に入
り、浅川・海部・
宍喰の各公共下



防災公園予定地の巡視

水道事業及び海部簡易水
道事業は、それぞれ職員
給与改正に伴う補正予算。
水道事業会計補正予
算は、水源地等の電気
使用料の不足による追
加と、水道料金等検討
委員会委員報酬など計
212万円。
当委員会付託の電気設
備工事・管設備工事の分
離発注推進のお願いの要
望書は、全会一致で継続
審査とした。
他にも、様々な協議が
行われたが、概要は以上
のとおりで閉会した。

境界の確認



現地での確認作業

森 林所有者の高齢化や不在村地主が増加する中、今後の林業を推進するために国の交付金を活用し、森林の境界の明確化を積極的に取り組んでいきます。

1080万円
**森林の境界明確化
事業補助金**

早急な経営改善を



ホテルリビエラしきい

株 株式会社漁火（遊遊N.A.S.A・ホテルリビエラ・道の駅実喰温泉）の経営を分析し、その改善策を探るための業務委託に対する補助金です。

1100万円
**第3セクター経営健全化
推進事業補助金**



大木屋小石川隧道

長期維持管理へ 林道委託料 (橋梁・トンネル点検)

2050万円

ト ンネル2ヶ所と橋梁47ヶ所を長寿命化計画に基づき、点検を実施します。

工事着手を目指して 突喰地区 防災公園整備事業 5100万円

用 地購入と物件移転補償を進め、準備工として調整池の工事に着手します。



防災公園エリア

文教厚生常任委員会

学 校業務支援システムを県委託

委員長 原 ひろみ

12月11日開会。

学校業務支援システムの共同化に関する事務の委託は、徳島県下で統一した校務支援やメールアドレスの一元化をすることで、教職員の多忙化防止や働き方改革の推進をする。事務の管理や執行は徳島県に委託。委員より、個人情報漏れることとはないのかと危惧する声があり、教育長から安全性が高いこと、システムを使うと業務短縮ができること、進学や転校の際には有効に活用でき正確であるとの説明があった。また、町内5校のPTA会長には説明をし、

30万円。3人が参加し、1位、2位という結果であった。

ため、サービス事業費が増えているとのことである。

理解をいただいている。安全面でもしつかりと対応することであった。

国民健康保険特別会計と、後期高齢者医療特別会計の補正予算は、給与改正による人件費の増額。

委員会に付託された理科教育設備整備費等補助金予算増額などの要望書2件は、継続審査となった。

平成30年度一般会計補正予算で民生費の主なものは、福祉避難所備蓄品購入費65万円。未就学児春休み預かり事業23万円。とくしま在宅育児応援クーポン事業97万円。

介護保険特別会計補正予算は、介護予防・生活支援サービス事業に335万円。要支援1・2の認定者が増加している

その他として、委員から、総合教育会議で帰郷奨学金について議論したのかとの問いに、一度

入費54万円。チャイルドシートとベビーカーのレンタル期間が延長したため、在庫が不足すること。

教育費の主なものは、

実隼中学校管理棟の屋根修繕費75万円。博物館空調修繕費61万円。世界ジュニアサーフィン大会アメリカ参加費として



海南病院「お薬のことは何でも聞いてください」



がんばらんげ体操

議論をした。31年度を目標に今後も継続審議していくとの回答であった。また、町に帰ってくる人を増やすため、受け皿づくりをどうするのか、これからも取り組んでほしいとの意見もあった。

海南病院の現状説明があり、外来・入院とも患者数は昨年より減少。広報海陽で病院だよりを掲載。外来窓口付近で薬剤師によるお薬相談の実施。ふるさと納税の返礼品に、健診チケットを追加。リハビリスタッフによる訪問リハビリを準備中。医師確保は調整中とのことであった。概要は以上のとおりで委員会を閉会した。

さらなる飛躍を！



上山選手のライディング



団体も優勝の日本チーム

スポーツ競技大会 出場補助金 30万円

10月27日～11月4日までアメリカ・カリフォルニアで開催された世界ジュニアサーフィン選手権に3人が日本代表として出場し、上山キアヌ久里朱選手が優勝、安室 丈選手が準優勝しました。

事業化決定

小中学校エアコン 整備事業 1億5900万円



快 適な教育環境のために、国の交付金を活用して、来年度、小中学校5校の普通教室などへエアコンを設置します。

安心して子育て

とくしま 在宅子育て 応援クーポン 事業 93万円

在 宅で育児をしている家庭に子育て支援サービスを行います。在宅育児家庭の心理的、経済的負担感の軽減を図るものです。

子どもあゆみ事業 備品 購入費 54万円

貸 出期間が2年(ベビーベッドは1年)となり、また今年度は昨年と比べ出生率が上がり不足の可能性があるので、チャイルドシート5台、ベビーカー5台、ベビーベッド3台を追加購入します。



親子で楽しくお散歩

協議会での 議案審議

条例について

Q1. 課設置条例の一部を改正する条例



見吉議員

新しい課の職員数はそれぞれ何人の予定か。

経営戦略課の業務は、第3セクターの経営にまで入り込むのか。

島田副町長

職員数は、今後の人事作業で精査する。第3セクターが健全な経営になるよう、指導・助言を行う。

見吉議員

経営を立て直すためには、職員も専門的な知識が必要になるのではないか。

三浦町長

専門家の意見も聞き指導していきたい。

一般会計補正予算（第5号）

Q2. フルマラソン大会運営費役務費〔108万円〕



佐川議員

チャレンジカップに入ると、どういうメリットがあるのか。

戎谷まち・みらい課長

大会記録により条件があり、昨年は記録の更新が出たので50万円の賞金が授与された。初めてマラソンにチャレンジし、完走した方に特別記録証を贈呈している。

Q3.

高齢者福祉費敬老年金〔△118万円〕



叶岡議員

敬老年金が減額になっているが、どうしてか。

福岡地域包括ケア推進課長
予算計上は前年11月30日現在の人数で行っており、実際に支給するのは翌年の9月になるので、死亡した方等もあり減額となった。

一般会計補正予算（第6号）

Q4.

学校管理費工事請負費〔1億5900万円〕



富田議員

エアコン整備事業を行う場合、町内の施工業者からは何社の指名願いが出ているのか。分割発注し、できるだけ町内業者が行うようにしてほしい。

森崎管財課長

エアコン工事は建設業法上では管工事となり、設計金額に応じて町内外から業者を選定している。

「善蔵川及び大里川」の治水対策について

要 望 書 (要旨抜粋)

治水対策を進める土台は、貴重な生命財産が脅かされてきた流域住民からの「浸水被害の解消」を求める熱い思いである。

平成26年の台風12号では、海部川流域（支川を含む）で「床上63戸、床下156戸」ものの浸水被害を経験した。

このうち、善蔵川及び大里川の流域は、役場・小学校・JR駅・郵便局・病院などが立地し、住民生活と地域経済を支える様々な機能が集中する地域である。両河川ともに、大規模な洪水が発生すれば、甚大な被害がもたらされることから、洪水と対峙するための「まちづくり」は町民の悲願となっている。

そこで、海部川本川に加え、善蔵川及び大里川における治水対策を推進し、流域一帯での「安全・安心」を確保するため、次の事項に格別なご配慮をお願い申し上げます。

記

- 1 善蔵川における治水安全度の向上に向けた河道拡幅をはじめとする河川改修への新規着手
- 2 大里川における洪水被害の軽減を図る堆積土砂の撤去及びそれに関連する護岸整備



【知事に 要望活動】

平成31年1月23日、県庁において飯泉嘉門徳島県知事に住民代表の方々と共に要望書を手渡し、治水対策の要望を行いました。

議会のらびりき

10月1日から
12月31日まで

10月

- 1日 議会広報編集特別委員会
- 2日 海部郡町村議会議員研修会（美波町）
- 9・10日 町村議会広報研修会及び視察（東京）
- 5日 議会運営委員会
- 12日 全員協議会・第4回臨時会
- 15日 議会広報編集特別委員会
- 17日 議会広報編集特別委員会
- 18日 四国地区町村議会議長会研修会（高知市）
- 19日 四国8の字ネットワーク東南部総会（安芸市）
- 29日 四国8の字ネットワーク東南部要望（高松市）
- 30日 海部郡・安芸郡議長連合会要望（高知市）

11月

- 1日 一部事務組合（海南荘・衛生組合）全員協議会
- 6日 全員協議会
- 7日 四国8の字ネットワーク東南部要望（東京）
- 17日 未知フォーラム
- 21・22日 議長全国大会及び視察（東京・寒川町）
- 27日 暴力排除海部郡民大会

12月

- 3日 議会運営委員会・全員協議会
- 7日 浅川自動閉鎖陸開視察
- 10日 第4回定例会（1日目）
- 10日 総務産業建設常任委員会
- 10日 議会運営委員会
- 11日 文教厚生常任委員会
- 13日 全員協議会
- 13日 第4回定例会（2日目）
- 14日 議会運営委員会・全員協議会
- 14日 第4回定例会（3日目）
- 14日 議会広報編集特別委員会

第4回定例会

議案の審議

平成30年度第4回定例会は、12月10日開会、町長より18議案、議会運営委員会より2案が提出され、審議の結果原案どおり承認・同意・可決し、12月14日閉会した。

専決関係

・専決処分の承認を求めることについて
(和解及び損害賠償の額定めることについて)

条例関係

・課設置条例の一部を改正する条例
・附属機関設置条例の一部を改正する条例
・職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
・町営バス運行事業に関する条例の一部を改正する条例

課設置条例の改正

(H31.4.1から施行)

【改正前】	【改正後】 (太字は新しい課)
○ 総務課	○ 総務課
○ 管財課	○ 管財課
○ まち・みらい課	○ まち・みらい課
○ 危機管理課	○ 危機管理課
○ 税務課	○ 税務課
○ 住民人権課	○ 住民環境課
○ 福祉課	○ 福祉人権課
○ 地域包括ケア推進課	○ 地域包括ケア推進課
○ 保健環境課	○ 商工観光課
○ 産業観光課	○ 農林水産課
○ 建設課	○ 建設課
○ 上下水道課	○ 上下水道課
○ 振興課	○ 経営戦略課

契約関係

・平成30年度町道海南柿谷線神野橋橋梁用部品製作工事変更請負契約について

変更前工期 議決のあった日の翌日～平成30年12月25日
変更後工期 議決のあった日の翌日～平成31年2月25日

同意関係

・学校業務支援システムの共同化に関する事務の委託について

予算関係

平成30年度一般会計補正予算(第5号)	2億322万1千円	↑
平成30年度国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	3万円	↑
平成30年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	3万円	↑
平成30年度介護保険特別会計補正予算(第2号)	341万円	↑
平成30年度浅川公共下水道特別会計補正予算(第1号)	3万円	↑
平成30年度海部公共下水道特別会計補正予算(第2号)	3万円	↑
平成30年度海部簡易水道特別会計補正予算(第2号)	3万円	↑
平成30年度海部簡易水道特別会計補正予算(第3号)	3万円	↑
平成30年度上水道事業会計補正予算(第6号)	212万円	↑
平成30年度一般会計補正予算(第7号)	1億6360万円	↑
平成30年度一般会計補正予算(第7号)	1100万円	↑

注釈
↑ 増額
↓ 減額

委員会提案

・海陽町議会傍聴規則の一部を改正する規則
傍聴の際、受付簿の記入を受付表への記入とする改正
・専決事項の指定について
1件100万円以下の損害賠償の額の決定等を指定

第4回臨時会

議案の審議

第4回臨時会は、10月12日開会、次の3議案が提出され、審議の結果、原案どおり可決閉会した。

条例・契約・予算

・町立幼稚園保育料徴収条例の一部を改正する条例
・平成30年度海南柿谷線神野橋橋梁用部品製作工事請負契約
契約金額 6350万円

契約相手 ノヴィルパブリックワークス(株)
工 期 議決日の翌日～平成30年12月25日

・平成30年度一般会計補正予算(第4号)

768万円

12月補正予算後の歳入歳出予算

歳入	12月補正	補正後	構成比率
町 税	0	6億5,854万1千円	8.2
地方譲与税	0	5,800万円	0.7
利子割交付金	0	100万円	0.0
配当割交付金	0	370万円	0.0
株式等譲渡所得割交付金	0	400万円	0.1
地方消費税交付金	0	1億2,430万円	1.5
自動車取得税交付金	0	1,030万円	0.1
地方特例交付金	0	80万円	0.0
地方交付税	1億1,687万1千円	37億2,007万3千円	46.3
交通安全対策特別交付金	0	90万円	0.0
分担金・負担金	274万6千円	6,677万2千円	0.8
使用料・手数料	0	6,160万9千円	0.8
国庫支出金	4,770万9千円	6億1,682万円	7.7
県支出金	5,285万1千円	7億1,399万4千円	8.9
財産収入	0	4,463万7千円	0.6
寄附金	0	70万円	0.0
繰入金	123万1千円	6億6,120万5千円	8.2
繰越金	1,100万円	1億2,622万6千円	1.6
諸収入	810万3千円	6,766万9千円	0.8
町債	1億6,620万円	11億1,617万7千円	13.7
合 計	4億6,711万1千円	80億4,286万3千円	100.0

歳出	12月補正	補正後	構成比率
議会費	3万3千円	7,045万6千円	0.9
総務費	1,800万9千円	10億7,741万7千円	13.4
民生費	973万2千円	16億9,183万8千円	21.0
衛生費	42万4千円	7億6,494万4千円	9.5
農林水産業費	6,368万8千円	7億7,854万6千円	9.7
商工費	1,185万8千円	1億7,298万1千円	2.2
土木費	6,246万8千円	10億7,462万4千円	13.4
消防費	15万3千円	5億3,319万2千円	6.6
教育費	1億6,608万9千円	9億3,208万8千円	11.2
災害復旧費	700万円	1億1,400万円	1.4
公債費	6,725万7千円	8億4,897万9千円	10.6
諸支出金	0	339万5千円	0.0
予備費	0	928万3千円	0.1
合 計	4億6,711万1千円	80億4,286万3千円	100.0

海南病院を介護医療院として併用使用できないか



富田 寛 議員

〈病院事務長〉療養病床を有しておらず転換できない

問 平成30年4月施行の介護保険法改正で、新たな介護保険施設サービスとして介護医療院サービスが創設された。介護医療院は長期に渡り療養が必要である要介護者に対し、療養所等必要な医療を提供し、日常生活の世話を行う介護機能を兼ね備えた施設である。県内では2施設が認可を受けている。

海南病院の経営は平成25年決算では赤字約4780万円、一般会計繰入金3億1000万円。26年は赤字5854万円、繰入金3億円。平成29年に至っては赤字4193万円、繰入金2億4000万円と過去5年間合計の繰入金は14億6000万円となっている。

入院患者数は平成20年度1万5339人から右肩下がり、平成29年度では半分以上の7037人と大幅な減少である。それに伴い、入院ベッド数45床の病床利用率が平成29年度では42.8%で、病床ベッド利用19床で、空きベッド26床という現状である。

現在の海南病院を介護医療院として併用使用できないのか。施設の指定基準では医師数・看護師職員・施設整備・構造設備もクリアしていると思われるので、病院の2階病床室を一部介護医療院施設に転換させる。病室の共用はできないが、部屋の号室で区分けをして使用すれば空き部屋の解消にもなり、赤字縮小に寄与できるのではないかと。一般病床は3ヶ月平均で入院日数24日で退院、地域包括ケア病床は60日と約2ヶ月だけである。問題なのは治療後、全員がすぐに退院できるわけではないということである。病状によっては医療的治療が終了しても、リハビリなどが必要になる。

一般病床の平均入院日数は24日以内となっているが、住民の方からもう少し入院させてほしいという声をよく聞く。

転院をしなくてもその場所で養生ができるというメリットが発生し、終末医療も受けられる。要介護者の方のためにも介護医療院制度の導入に取り組むべきと思う。

答 谷岡病院事務長 9月に県が意向調査を行っている。徳島県介護保険事業支援計画の中で、3年間の介護医療院への転換について位置づけられる必要がある。

海南病院は療養病床を有しておらず対象のため、介護医療院への転換はできない。

答 三浦町長 病床を介護医療院に変えた場合には、医療保険の適用から介護保険の適用になるために、介護給付費が急増して住民の介護保険料の負担額の増額が問題点になるため、いろいろな方面から模索をしながら見極める必要がある。いずれにしても、現状を打破すべく新年度から一定の方向性が出せるように現在動いている。

問 病院の廊下や部屋の号室で仕切る、また廊下に戸を付けて、そこから向こうは介護医療院にするなど検討してみてもいいか。それができない場合は、病院横の空き土地に病室だけを建築し介護医療院にすれば、今の病院はそのままの形態として併用できるのではないかと。

この施設ができれば、町外に入院して医療を受けなくても、地元で治療に専念でき、通院も近く、家族にとっても経済的負担の軽減になる。病院も収益確保につながると思う。

答 町長 先程も答えたように、一定の方向が出せるように現在動いており、その方向が確立すれば一つの選択肢として検討していきたい。前向きな提案をいただければと思う。



海南病院前の空き地

般 質 問

漁火の改善に向けた 具体的な取り組み実施の効果は



叶岡 徹 議員

〈副町長〉 職員と顔の見える関係を築き課題を共有

問 副町長が毎週、販売会議等へ参加しているが9、11月の成果はどうなのか。職員が危機感を持つて一生懸命仕事をするという形が全くできていないし、町民の方々の利用も少ない。また、営業は行っているのか。

答 島田副町長 幹部会議等に参加し、漁火の現状や今後の見通しを説明するとともに、職員と顔の見える関係を築き課題を共有し、改善に向けた意見交換を行っている。

職員が営業マンとなり営業活動を行ったり、SNSを活用した積極的な広報を行っている。引き続き、漁火職員の意識改革と業績アップに努めてまいります。

問 副町長が毎週、販売会議等へ参加しているが9、11月の成果はどうなのか。職員が危機感を持つて一生懸命仕事をするという形が全くできていないし、町民の方々の利用も少ない。また、営業は行っているのか。

答 創業20周年キャンペーンを4月に取り組んだが、宿泊や食事の売り上げが減となった。どう取り組んだのか。従業員の働く意識の向上には、どう取り組んでいくのか。



ふれあいの宿 遊遊NASA

大阪万博へ町として どう取り組むのか

〈産業観光課長〉 積極的な参入を促したい

問 2025年、50年ぶりの万博、多くの人が全国各地、世界各国から集まってくる。町にとってもチャンスとなるので、特産品のニンジン・キュウリ・阿波尾鶏など売り込むべきである。町がバックアップして販売を応援するべきと思うが、今後どう取り組んでいくのか。

答 横産業観光課長 大阪で開催されるので地理的には有利な状況である。町内の生産者やJA・漁協等へ情報提供することで積極的な参入を促すとともに、各種認定に係る支援を県と連携して取り組んでいきたい。

ブロック塀等の 撤去の取り組みは

〈建設課長〉 撤去してもらえよう周知に努める

問 津波避難道路の確保として古い危険な塀や家等を取り除き、町民の不安を解消してはどうか。個人所有がほとんどだと思うがどう取り組み、持ち主に對して、どのように連絡をしているのか。町にブロック塀や空き家等の危険な箇所は何箇所あるのか。改善のために、どう取り組んでいるのか。

答 黒木建設課長 県の調査で基準点以下の判定となった所有者に文書で通知している。ブロック塀の撤去補助制度を多くの方に利用していただくために広報活動を行い、周知していくよう努める。

ネコの愛護及び管理は どうしているのか

〈保健環境課長〉 獣医と訪問し指導を行っている

問 条例が制定されて以降取り組んでいると思うが、餌やりや排泄物に對しての苦情は来っていないのか。規定に違反している人に対して必要な措置を講ずるとあるが、指導・警告・命令を行ったことはあるのか。未だに家の外で餌やり等を行っているところがある。

答 長江保健環境課長 苦情等は以前に比べ少なくなっている。規定違反している者に對しては、保健所の獣医師と一緒に訪問し、餌やりの禁止や去勢手術を受けてもらうよう指導を行っている。

般 質 問

要援護者の支援体制は

〈危機管理課長〉

充実した取り組みをしたい



佐川 富美 議員

問 国は2014年に自力避難が困難な避難行動要支援者名簿の作成を義務付けているが、海陽町ではどうなっているのか。定期的な更新はしているのか。

答 中野福祉課長

名簿の作成はできており、年1回見直しをしている。避難行動支援者の同意名簿は、各支援機関に情報提供している。

問 以前、中部地方で災害があった時、『向こう三軒両隣り』の体制ができていたので安否確認が早かったようだ。

災害時要援護者は、地域で情報を共有しないと支援ができないのではないか。また環境や支援体制、救済体制づくりはどうか。

災害時要援護者は、地域で情報を共有しないと支援ができないのではないか。また環境や支援体制、救済体制づくりはどうか。

答 佐藤危機管理課長

今期より3地区の自主防災組織連絡会を作り意見交換をし、防災活動の意識高揚の環境づくり等をしている。今後は要援護者の方を考慮し、充実した取り組みをしたい。

海南小学校は洪水時には避難場所になっていないはずだが

〈危機管理課長〉

防災のしおり改定時に外す

問 海南小学校は豪雨洪水の際、小学校横の川が氾濫する恐れがあるということと準備避難所にはなっていない。

しかし、周辺の住民はどのような災害の時も海南小学校が避難所であると思込んでいます。同様な場所は他にもあるのか。

答 危機管理課長

洪水ハザードで浸水区域になっているが、しおりの改定時に外す予定。他にもあるか随時調べる。

投票所に行くのに困難な方は

〈町長〉 移動投票所に
取り組んでいきたい

問 来年度は徳島県知事選、統一地方選挙が行われる。平成28年に選挙権が18歳以上に下げられた。18歳・19歳の投票率、有権者の期日前投票はどうだったか。

答 田村住民人権課長

先般の町の選挙では投票率78・92%、18・19歳は0・65%。期日前投票は41・69%であった。

問 海陽町から離れ、住民票が地元にある18歳以上の方への対応

をされている。また海部高校で出前講座をしている。

は。投票所に行くのが困難な方、障害のある方にも選挙権がある。投票率を上げるためどのように考えているのか。

答 住民人権課長

郵便による不在者投票制度がある。車いす、障害のある方、意思表示ができる方の代理投票の補助・サポート

をされている。また海部高校で出前講座をしている。海陽町ホームページ、広報に選挙に関する情報を掲載している。

答 三浦町長

山間部などの投票所まで遠い高齢者などの対策としては、期日前投票の期間中に一回だけでも車で投票箱を持って行き投票することが出来ないか、先進地視察もお願いしている。

放置自転車の条例の制定は

〈町長〉 前向きに検討

問 海南。海部駅に放置されている自転車の撤去方法は無いのか。撤去できるような条例を制定する考えはないのか。

答 長江保健環境課長

放置自転車の保管場所や事務手続き、処理の仕方等様々な課題があるので今後検討したい。

答 町長

条例については前向きに検討したい。



海南駅の自転車置き場

般 質 問

災害時避難所の学校体育館に エアコン整備を



原 ひろみ 議員

〈教育次長〉 当面は扇風機等による対応をしたい

問 自然災害が相次ぐ中、政府は来夏までに全国の学校普通教室にエアコン設置を決め補正予算が成立した。しかし、災害時避難所として指定されている体育館には設置予定がない。最近の災害級の猛暑の中では、体調不良や熱中症が予想されるため、体育館にもエアコン設置を精力的に進めてほしいが。

答 中内教育次長
体育館のエアコン設置には莫大な経費が掛かり、建物自体の改修も必要となる。当面は扇風機等による対応や、空き教室の活用などで対応したい。

災害時備蓄に 液体ミルクの普及を

〈危機管理課長〉

南部防災館に備蓄



おいしいミルクですくすくと

問 災害時、水や湯の確保が難しい。来春販売予定の液体ミルクは常温で半年程度保存可能で、蓋を開けて吸い口を装着すれば、すぐ飲める。子育ての負担軽減にもなり、赤ちゃんが泣きわめくのも解消できる。各避難所や乳幼児のいる家庭での備蓄にも普及してほしい。

答 佐藤危機管理課長
南部防災館に備蓄して

いるが、アレルギー対応・賞味期限などを考慮し、今後の普及状況をみていきたい。

答 中野福祉課長
育児の負担軽減になる一つの方法として液体ミルクを知ってもらう機会をつくりながら、災害時に役立つ方法として検討していきたい。

助産師会との災害時、 母子支援協定の締結を

〈福祉課長〉 県や県助産師会と
連携を図る

答 福祉課長
県と県助産師会とは災害時における医療救護活動に関する協定書を締結している。町においても県と連携を図りながら、分娩時の際の助産師派遣や応急救護にも対応してもらえよう要請していきたい。

母子避難所設置は、まず避難所で避難所の運営を行っていくようになるので、臨機応変な対応をお願いしたい。

問 当町からは小松島や阿南まで行かないと分娩できない。妊婦の不安は大きい。妊産婦や乳幼児が安心して健康相談や応急救護が受けられるようすべきである。医療機関への搬送有無の判断、分娩介助前後措置も必要だ。災害時、母子支援協定を締結し、安心サポートをするべきである。母子避難所も開設してほしい。

般

質

問

課題解決に向け勇猛邁進

町長 三浦 茂貴

2019年は、アジア初となるラグビー・ワールドカップの開催を皮切りに、東京2020オリピック・パラリンピック、ワールド・マスターズ・ゲームズ2021関西ま



出初め式(2019.1.4)

現在、海陽町の観光客集客の受け皿である株式会社漁火が、前年度決算で約3223万円もの今までに無い大幅な赤字、さらには上半期で約2170万円もの赤字を出し、融資を受けなければ存続ができない状況に陥っている。融資を受けることができたとしても現状維持では一年持たない状況にある。専門家の意見も取り入れ、早急な改革を進めていきたい。

町の施設は、赤字になるのは仕方がないという今までの概念を払拭し、黒字転換して自立できるようにするために将来を見据え、どんどんと手を入れていき、方向転換もしながら、観光客のニーズに答えられるよう取り組んでいくことが、町への集客、さらには、周辺の民間の集客や経済の循環にも繋がっていくと考えている。

常勤医師の確保や内部の改革に向けて動いており、新年度には一定の方針が出せるように進めているところである。

特別養護老人ホーム

海南荘も平成27年度から、一時は約6000万円あった内部留保が枯渇し、さらに負担金を増額しないと経営が成り立たない状態となっている。厳しい状況であるが何とか立て直すことができるように、職員一丸となって進めている。住民が住み慣れた場所で安心して生活できるように、その中核となる病院や介護福祉施設がしっかりと残せるように動いていきたい。

ふるさと納税については、11月末までの8か月間で、対前年度比88.9%の上昇。町の産業発展のために職員も非常に忙しく奔走しているので、今後も応援をお願いしたい。

海南病院については、

職員の接遇研修につい

ては、第1回目の研修を12月に実施し、その後1月、2月にも予定しており、研修の成果が住民の皆さまに分かるように取り組む。

地元浅川出身の福岡ソフトバンクホークス森唯斗選手が今年の日本シリーズの優秀選手賞やパリーグの最多セーブ王に輝き、この功績を称え、海陽町特別表彰を行った。森投手には、海陽町民として日本国民の希望の星として、今後もより一層、強く輝き続けていただきたい。

来る2月17日に開催予定の第11回海部川風流マラソンは、本大会から参加料を7000円から8000円に値上げし、値上げした一部を利用してボランティアも楽しめるように吉本芸人の「かつみ♥さゆりさん」のエイド訪問も企画している。参加者全員が楽しめる一大イベントとなるよ

う務めてまいるので、ご協力をお願いしたい。

町では、これまで、平成19年度の国の方針に基づき、来年度中の簡易水道の上水道への事業統合に向け作業を進めてきた。今後の給水人口や料金収入の減少を踏まえ、皆さま方のご意見も伺いながら取り組んでいくので、ご理解賜りたい。

海部道路については、県にご尽力いただき11月16日に都市計画決定が行われた。今後、早期事業化に向けて、県の協力のもと国に対し要望活動を続けていく。

私の選挙公約でもある、回帰型奨学金については、有効な効果が出るように4月施行に向けて現在、制度設計を行っている。

今後とも、直面する課題に対し、強い意志を堅持し、不断の改革に取り組んでまいります。

中島 米子さん

靱浦字南町

95歳
(大正12.3.21)

・元気の秘訣

毎日の畑仕事



・日常生活は？
生きがいは？

朝食はパンと果物、
昼夜は自分で作っている

午前は畑仕事を2時間、
午後は散歩など

ご飯は毎食おいしい

・人生で
一番の思い出は？

靱浦で平和に暮らした
日々



平成31年1月11日 畑でひと休み

編集後記

平成もやがて終わりを迎えようとしています。寂しく思う反面、新しい元号は何だろうと期待を膨らませていきます。

平成30年度は全国的に災害に見舞われ、大変な年でありました。しかし、海陽町では平成29年度に比べ出生率がほぼ倍になったり、ソフトバンクを2年連続日本一へ導いた森投手の活躍、またサーフィンの世界大会では、上山選手は優勝、安室選手は準優勝を飾るなど明るいニュースも多くありました。

海陽町の皆様が頑張っている中、私たちも負けてはいられないと改めて思いました。編集委員として研修会にも参加し、皆様にわかりやすく情報を伝えられるよう努めてまいります。

最後までお読みいただき、ありがとうございました。
(佐川)



海南駅の「スイセン」